

レポート

# 九州新幹線全線開業へカウントダウン

## 新玄関口に広がる、屋根付きの歩行者通路

光を取り入れて明るさを出すため屋根や壁には部分的に大きな穴が開けてある



駅周辺整備工事もラストスパーク

▲広場の整備が進む新幹線熊本駅西口。駅舎からつながる、熊本城の長堀をイメージした歩行者用通路

3月12日の全線開業に向けて九州新幹線熊本駅西口広場の工事が急ピッチで進んでいる。広場の歩行者用通路の屋根と壁は既に完成しており、工事は最終段階を迎えている。熊本の新しい「顔」となる熊本駅西口の風景を追った。

新しく生まれ変わる春日地区 熊本駅西側の春日地区では、狭い路地に木造住宅が密集していた一帯が土地画整理で大半が更地となり、駅舎に滑り込む試験運転の新幹線車両が遠くからも眺められる。駅出入口部は城門をモチーフにしたという大きな門柱の柱と、下見板のデザインを取り入れたガラス壁が印象的だ。

### 開放感のある西口駅前広場

駅と春日地区の住宅街の間に広がる西口駅前広場。コンセプトは「半屋外の公園のような駅前広場」で、駅と住宅地をゆるやかな空間でつなぐ役割をもつ。広場中央にロータリーがあり、その周りを屋根と壁付きの歩道が囲んでいる。くまもとアートポリス事業で最優秀賞を受賞した(有)佐藤光彦建築設計事務所がデザイン。熊本城の長堀をイメージし、内側ロータリー側が黒、外側(歩道側)が白に塗装されている。

また、広場の一角に「湧水」をイメージした親水施設と水飲み場が設置されている。新幹線の利用客に「地下水都市・熊本」をアピールする。西口広場は道路の舗装、植栽や案内板の取り付けなども含め、2月末の完成を目指している。



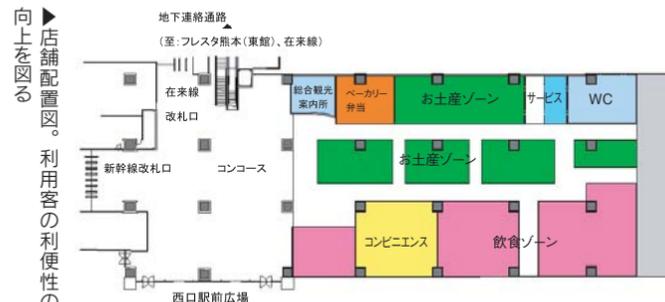
▲西口広場の歩行者用通路は壁の内側が黒、屋根と壁の外側が白く塗られている(花岡山から撮影)

## 3月12日に同時オープン

新幹線高架下商業施設



▶オープンの3月に向けて工事が進む新幹線高架下



▶新幹線高架下商業施設「フレスタ熊本(西館)」の完成イメージ



▶420台収容できる自走式立体駐車場

九州新幹線が全線開業する3月12日、熊本駅西口の新幹線高架下にJR九州が物販・飲食施設「フレスタ熊本(西館)」をオープンする。新幹線開業に伴う周辺整備事業の一環として、「くまもとに浸る」というコンセプトの下、新幹線改札口正面に熊本の土産物や食を集積した商業施設を設置。施設は鉄骨造り平屋建てで、床面積は約2800㎡。JR九州子会社のジェイアール九州ビルマネジメント(株)が運営する。土産物店19店、飲食店5店、サービス3店、ベーカリー・弁当2店、コンビニエンスストア1店が入居する。また、商業施設オープンに先立ち、昨年10月、隣接地に自走式立体駐車場が開業している。商業施設と駅利用者共用の駐車場で鉄骨作り平屋建て、床面積は4315㎡。屋内と屋外、屋上合計で420台収容できる。利用客の利便性向上と開業後のにぎわいに期待が高まる。

熊本ラーメン代表格。 **熊本** 熊本駅新幹線口店

桂花ラーメン 熊本駅新幹線口店は ロアッソ熊本を応援しています。

2011年3月12日 **OPEN**

どうぞ期待!

熊本 熊本拉麺 KEIKA

熊本駅新幹線口店 準備室 (株)デリバリー九州 096-325-7880